

フィルムタイプの非硬化材

リタメイト[®]CJ

Retamate[®]CJ

NETIS 登録番号 NO.TH-990084-VE

コンクリート洗い出し表面処理材

打ち継ぎ面処理に！ デザイン仕上げに！



 **三光株式会社**

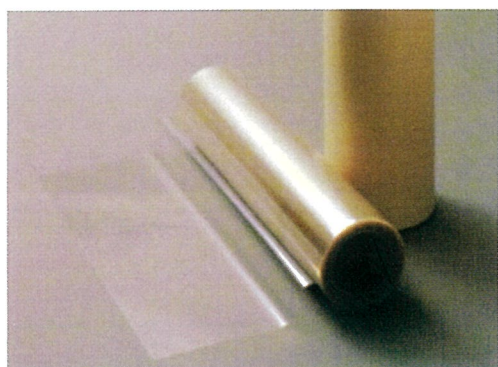
<http://www.sanko-inet.co.jp/>

リタメイトCJで、打ち継ぎも、 デザインも、すべて解決！

リタメイトCJは、従来の技術とは全く異なる新しいタイプの洗い出し表面処理材です。特殊な技術や熟練を要することもなく、簡単かつスピーディーに作業を行えます。また、地球環境にもやさしく、大幅な省力化でコストダウンも可能にしました。

「リタメイトCJ」の特徴

- 薬剤の塗布ムラもなく、レイトンスを均一な深さで除去できます。
- 鉛直面、傾斜面でも薬剤が流れることはなく、安心してご使用できます。
- コンクリート打設後型枠をセットしたまま、長時間薬剤の効果が持続しますので、作業工程、スケジュールの自由度が増します。
- 雨水、ブリーディング水の影響を受けにくい薬剤を使用しています。
- シートは簡単にカットできますので、部分的な洗い出しや、自由自在な形の骨材露出面が作成できます。



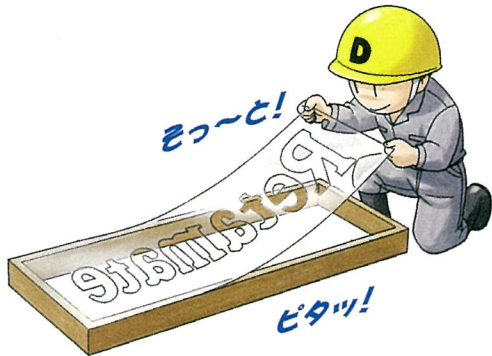
【商品形態】 幅 1m × 長さ 50m (50m²)



☆ NETIS（新技術情報提供システム）登録済み
NO. TH-990084-VE

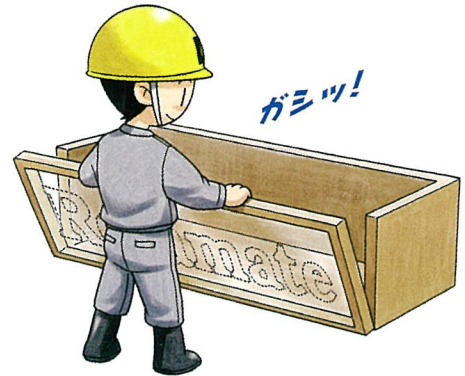
作業はかんたん! 効率アップでコストダウン!!

1 型枠にリタメイトCJを貼り付けます。



両面テープやガムテープ、ステープラーなどで型枠にリタメイトCJを固定します。

2 型枠を組み立てます。



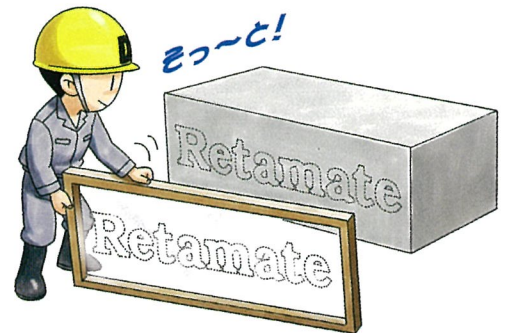
リタメイトCJを傷つけないように注意しながら、型枠を組み立てます。

3 コンクリートを打ちます。



パイプレータがリタメイトCJに当たらないようにコンクリートを打ち込みます。

4 型枠を外します。



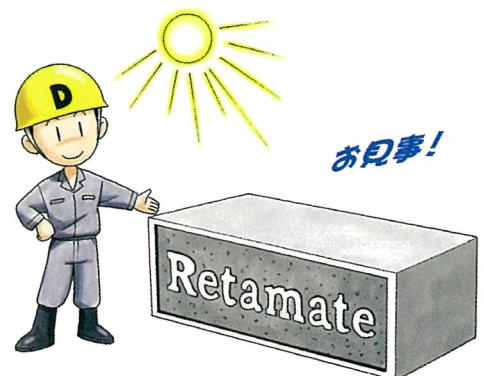
型枠を丁寧に取り外します。

5 表面を洗い出します。



リタメイトCJと接していた部分は、水で洗い流すだけで、骨材を簡単に洗い出せます。

6 これで完成!

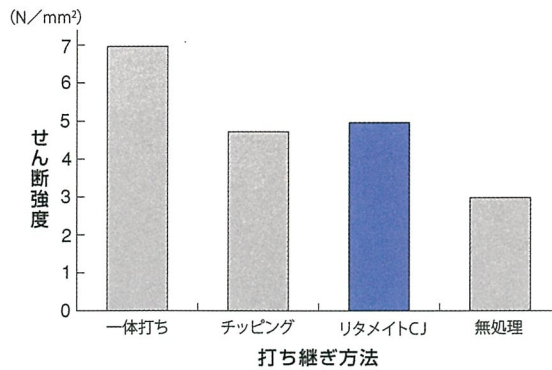


水を切り乾燥させれば完成です。

[技術データ]

従来工法との比較

[各種打ち継ぎ方法における二面せん断強度の比較]



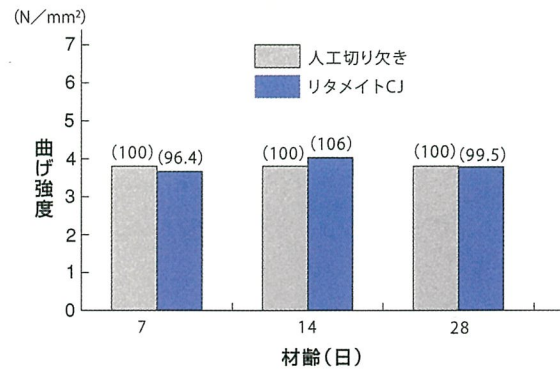
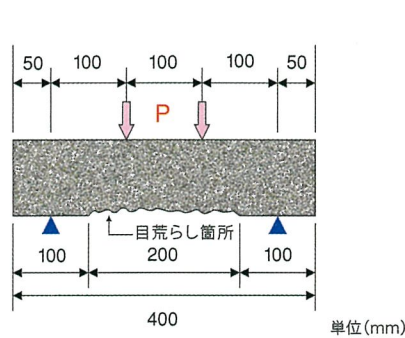
リタメイトCJ使用
各ケース n = 6
林齢 28 日における実験結果

用いたセメントコンクリートの配合は以下の通り。

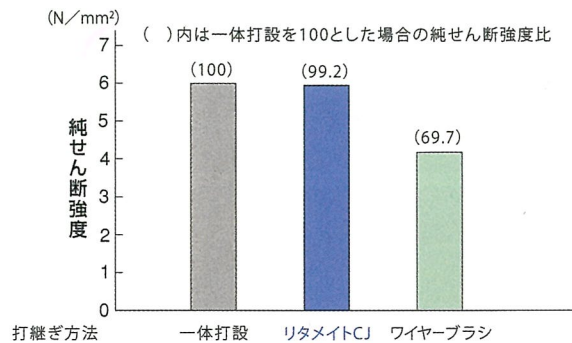
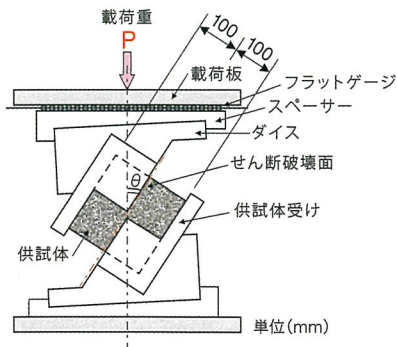
W / C = 50%, s / a = 42%

水 : 164kg / m³, 普通ポルトランド : 322kg / m³
細骨材 : 762kg / m³, 粗骨材 : 1060kg / m³
混和剤 : セメントに対し 1%

洗い出し部以外の曲げ強度



純せん断強度



注 上記技術データは参考値で保証するものではありません。

施工例



土木：橋梁での水洗出し作業中



土木：打ち継ぎ面処理



土木：洗出し後の打ち継ぎ面



土木：浄水場での使用例



土木：橋梁での使用例



建築：外構での使用例（PC 製品）



建築：外構での使用例（PC 製品）



デザイン：文字洗い出し例



No. TH-990084-VE



お取り扱い上の注意

- (1) 保管は直射日光を避け、雨風に曝されないようご注意ください。
- (2) 未開封の場合、貯蔵期間は6ヶ月程度です。
- (3) 開封後は、すみやかにご使用ください。
- (4) シートの表裏を間違えないよう、ご注意ください。
(ガラガラした面が薬剤面側です。)
- (5) リタメイトCJを型枠等に貼り付ける際は、シワにならないようご注意ください。
- (6) リタメイトCJは雨水等の影響を受けにくい薬剤を使用しておりますが、型枠へ貼り付け後コンクリート打設までの期間はブルーシートで被う等保護をお願いします。
- (7) 薬剤面側にアルカリ水（コンクリートに接触した水、セメント水等）が付着すると反応が起り効果がなくなることがありますのでご注意ください。
- (8) コンクリート打設後脱型までの期間は、コンクリート面とリタメイトCJ貼り付け面に隙間ができないように施工して下さい。
- (9) 型枠を外した後は、すみやかに洗い流し作業を実施してください。
- (10) 一度ご使用になったリタメイトCJは繰り返しご使用できません。
- (11) ご使用後のリタメイトCJは「プラスチックごみ」として廃棄できますが、廃棄方法については、各自治体の基準に従って処分をお願い致します。

* 当品について、お取り扱いの不慎から生じた損害については責任を負いかねます。

お問い合わせは

 **三光株式会社**

樹脂機能材事業本部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町四丁目1-6 クアトロ室町ビル3階
Tel. 03-5204-0574

URL: <http://www.sanko-inet.co.jp/>